

シバキーププラス α

使用前にはラベルをよく読む。ラベルの記載以外には使用しない。小児の手の届く所には置かない。

農林水産省登録 第 2 2 7 4 9 号

農薬の名称 シバキーププラス α

農薬の種類 トリアジフラム・DBN 複合肥料

【成分】

- ・ トリアジフラム・・・・・・・・・・ 0. 1 0 %
- ・ ジクロベニル (DBN) ・・・・・・・・ 0. 5 0 %
- ・ 肥料等・・・・・・・・・・ 9 9. 4 4 %

保証肥料成分

登録番号 : 生第 9 1 1 9 0 号

肥料の種類 : 化成肥料

保証成分量 (%) : アンモニア性窒素・・・・・・・・ 1 1. 0
 < 溶性りん酸・・・・・・・・ 8. 0
 内水溶性りん酸・・・・・・・・ 4. 0
 < 溶性加里・・・・・・・・ 7. 0
 内水溶性加里・・・・・・・・ 6. 5
 < 溶性苦土・・・・・・・・ 3. 0
 内水溶性苦土・・・・・・・・ 1. 5

【性状】 淡褐色粒状 径 1 mm～ 3 mm

【適用雑草と使用方法】

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	使用方法	総使用回数※	
日本芝 (こうらいしば)	一年生雑草	雑草発生前～雑草 発生初期	20～40g/m ²	全面土壌 散布	本剤およ びトリア ジフラム を含む農 薬	DBN を含む 農薬
	多年生広葉雑草 スギナ	春夏期雑草発生前 ～雑草発生初期				
つつじ類	一年生雑草	雑草生育期 (草丈 10cm 以下)				

※印は本剤及びそれぞれの有効成分を含む農薬を、年間に同一場所に使用できる総使用回数の制限を示す。

- 1 m²あたり 20～40g を雑草の発生前～生えはじめの時期に散布します。

芝刈り・施肥・目土入れ等、通常の管理作業が行われた健康な芝生にご使用ください。
 弱っている芝生に使用すると茶色く変色することがありますので、ご注意ください。

- まきすぎに注意：まきすぎは薬害が出るおそれがあるので、必ず使用量を守る。
- 高温時や異常乾燥時の使用注意：高温時や異常乾燥時は薬害の出るおそれがあるので使用しない。
- 芝植えつけ後、根切り後の使用注意：芝植えつけ後1年以内や、根切り作業後3か月以内には使用しない。
- 弱っているときは注意：芝生・つつじ類が弱っている場合は使用しない。
- 西洋芝には使用しない

特長

- ゴルフ場で使われている除草成分「トリアジフラム」を家庭用に初めて配合。さらに肥料成分をプラスし、芝生の生育を促しながら、雑草の根まで枯らします。
- クローバー、タンポポ等の多年生広葉雑草だけでなく、メシバやスズメノカタビラ等の一年生イネ科雑草にも効果を発揮します(雑草発生前から発生初期まで)。
- つつじ類の小草(一年生雑草)の除草にも使えます。
- 3週間前後で雑草を枯らし、約4か月雑草の発生を抑えます。肥料成分も緩やかに約4か月持続します(天候、土壌条件、散布量等により差が生じることがあります)。
- 植物だけが持つ生理代謝機能を阻害して雑草を枯らします。

散布上のポイント

- 雑草の生える前から生えはじめに散布してください。雑草が大きくなりすぎると効果が出にくくなります。
- つつじ類に使用する場合、枝葉に薬剤が付着したときは払い落としてください。
- 粒をそのままばらばらと土壌へ均一に散布してください。

効果・薬害等の注意

- 雑草が大きくなりすぎると効果が劣るので、芝で使用する場合は雑草発生前～雑草発生初期に、つつじ類で使用する場合は雑草の草丈10cm以下の時期に均一に散布する(効果)
- 高温期や異常乾燥時または芝生が弱っているときには使用しない(薬害)
- つつじ類の枝葉に薬剤が付着した場合は払い落とす(薬害)
- 砂土では使用しない(薬害)
- 植えつけ後や更新作業後の根が傷んでいる時期には使用しない(薬害)
- 西洋芝は枯れるので使用しない(薬害)
- 水源池等に飛散・流入しないように十分注意する。
- 飛散によって自動車やカラートタンの塗装等へ影響を与えないよう、散布地域の選定に注意し、散布区域内の諸物件に十分留意する。
- 空容器、空袋等は放置せず、環境に影響を与えないよう適切に処理する。
- 使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意する。

安全使用上の注意

- 眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当てを受ける(刺激性)
- 街路、公園などで使用する場合、散布区域に縄囲いや立て札をたて、散布中および散布後(最小限その当日)に関係者以外は立ち入らせない。小児、人畜等に留意する。

【保管】 密封し、直射日光をさけ、子供の手の届かない冷涼・乾燥した所。